人生にいろどりを与えられるTCを目指して



いろどり歯科こども歯科クリニック
大串　智美

マスターカレッジ受講のきっかけ

私がTCを知ったのは、院長との入職前面談をしていた3年前。受付として内定をいただき、これからなにを目標に高みを目指して仕事に取り組めば良いか？を話していた時の事。百貨店に勤務していた前職での経験や、人と接する事が好きな私の気持ちを考慮して下さった院長から「TCという役割がある。大串さんにはそこを目指してほしい。」と言われ初めて知ったTCという仕事。院長をはじめ働くスタッフ、医院理念に強く惹かれ念願叶って内定をいただいた医院。いろどり歯科で初めて与えていただいたTCという仕事がとても印象に残っておりその日からずっと心の中で憧れていた。

入職後、歯科未経験の私は受付業務に加え毎晩遅くまで歯科についての勉強をし、家事育児と目まぐるしく過ごしていた。TCのいない当院にどのような働きかけをしたら導入できるのか、右も左も分からない悶々とした日々。作り上げられた環境を仕組みから変えることは容易ではなく、現場主義な講習をずっと探し求めていた。そんな時に出会った、TCマスターカレッジ。
TCを目指すにあたって即実践型のカリキュラムが組んであり、これだ！と強い運命を感じ院長に相談したところ、院長も同じ思いでTCマスターカレッジを受けて欲しいと考えて下さっており、ベーシックコース、レギュラーコースを受講する運びとなった。

①TCマスターカレッジを受講して

入職して数年経ち、3人目の育休から復帰して3ヶ月後、第一回目の講習が始まった。
ずっと憧れていた本物のTCを目指して、講師の先生方の話を聞き逃すまいと必死に食らいついた。
幼い子ども3人の子育て真っ最中の私にとっては、社会人になって机に座って学べる事が特別で本当に嬉しかった。こんな私を信じて送り出して下さった院長への感謝の気持ちと、必ず恩返しをするという思いを胸に抱き大阪校、博多校の研修会場へと通った。

講習で学ぶ事は、全て臨床現場に直結しており学んですぐ翌日から実践できる事ばかり。
回を重ねるごとに、私が学びたかった事はやっぱりここにあった！という思いが強くなっていった。
課題のロープレマニュアルは練習するたび、実際のコンサル時に温度のある言葉として出てきた。
即実戦型とはこの事か、と身をもって感じた。

熱い想いを持った先生方、各地域から集まった志の高い同期生、心を動かされる講習内容、TCマスターカレッジで学んだTCという役割が、私の歯科人生において大きな革命を起こしてくれた。

国家資格を持たない私が、患者さんや医院のためになにか役に立てているのだろうか。
自分なりに精一杯働く中で、時折こういった思いが出てくる。私は、患者さんに対して誠実に向き合うように自分自身に対しても誠実に向き合う事が必要だと感じ、まず自分自身を受容する事に取り組んだ。

全5回の講習を通して、「誠実さ」を学んだ。TCは“対患者”とイメージされることが多いと思うが、ともに働くスタッフや自分自身に対しても誠実さが必要である。講師の先生方の私達受講生に対しての誠実さには何度も心を動かされた。

私はこの講習を通して、夢を思い描くだけではなく、なりたい自分になるために可能性を信じて行動した事で、自分自身に誠実に向き合うことができたのではないかと感じている。

②日本の歯科医療におけるTCの役割

歯科は難しい、分からないことだらけ。と入職当時の私は歯科に従事するスタッフよりも患者さんに近い感覚だった。私自身、“歯科を受診したらチェアに座ればプロの方達が治療やケアをしてくれるもの、知識のない私が色々言うよりも歯科医院にお任せした方が安心できる。”と思っており、自分の口腔内のことを自分ごととして捉えていなかった。
そんな反面、“本当はもっと聞きたかったけどどこか詳しい質問はしにくく結局どのように診療が進んだのかよく分からない。”そういった不安な気持ちも抱いていたので、知識のない私のような人にも理解できる説明をしてくれる人がいたらいいのにとずっと思っていた。ぱーっと簡素的に説明され他に治療の選択肢がある事も知らず、自分が納得した治療を受けられたのかも分からない。
気付いた時には削ってしまった歯はもう戻ってこない。歯科医院選びを誤まったのかと、過去の自分を責めることしかできない。こんなに悲しく、行き場のない思いをする人を生み出したくない。
歯科の現場に必要なのは、患者の気持ちに寄り添い、質問がしやすく十分に安心・納得した上で治療方針を選択できる環境、そしてその対応ができるスタッフだと感じている。
そう、まさにTCの役割だ。テクノロジーが進化する今の時代、人との触れ合いこそ付加価値がある。人の心を動かす事ができるのは人である。現実を認識させ理想を提案し希望に変える。
患者の不安に寄り添い最善の治療計画を提案し健康意欲を高められるのは、私達TCなのだ。

③スクールの学びを医院でどのように活かすか

国家資格のない私でもTCという役割を通して患者さんに貢献できることを知った。だが、実際には私ひとりではなにもできない。歯科医師、歯科衛生士、歯科助手、受付、保育士など医院を取り巻く全てのスタッフが一丸となってこそチーム医療につながる。患者さんの個人満足につながる。
まずは私自身がスタッフに歩み寄り、それぞれの専門職に専念できるよう理解・協力していく中で私もプロとして自分の役割を全うしていきたいと思う。そのためには、他職種のスタッフが日々なにをしているのか、困り事はないか、されたら嬉しい・助かることはなにかこちらから知りにいく姿勢が大切だと思う。仕組み作り、意識改革などの課題はたくさんあるが、いろどり歯科を選んでご来院されている患者さんの医院選びを正解にしたい。その想いで、出来ることからひとつずつ挑戦していきたいと思う。
当院には「自分の人生をデザインし、なりたい自分になれる人を増やす」という医院理念がある。患者さんには、歯科という観点からもご自身がいつまでも健康でいるために選択できる事があるという事を知ってほしい。選択肢があるという事が患者満足度にもつながってくると感じる。

最後に

TCという役割は、知れば知るほど強く、優しく、かっこいい。
本物のTCになりたい！と志したあの日から、期待、不安、喜び、焦り…たくさんの感情の中で学ばせていただいた半年間、私ひとりでは到底乗り越えられるものではなかった。
信じて送り出して下さった院長、一緒に受講して下さった前田さん、自分で決めたことなら頑張らなんたい！と背中を押してくれた家族、そして医院に戻れば温かく迎えてくれるスタッフ、改めてこれだけ多くの方に支えていただいた上で学べていたんだと、感謝の気持ちで胸がいっぱいである。
一度きりの人生でやりがいや喜びを感じれる事に出会えて私はとても幸せだと思う。きっと、楽しい事ばかりではない。それでも逆境には真摯に向き合い、それさえも学びだと思える人間でありたい。子どもたちにはその姿を見せて「大人になるって楽しいよ、自分の人生は自分で彩ることができるよ。」と伝えたい。

TCマスターカレッジでの一生の学びをこれから多くの患者さんへ伝えていくために、自分に限界をつくらずこれからも日々精進していきたい。

【2960文字】